

広告

国立大学法人  
北海道国立大学機構  
Hokkaido Higher Education and Research System

# ただの単科大学じゃない。

## 異分野を学び、視野を広げ、未来を切り拓こう

将来の世界と北海道を支える人材を育てる  
北海道国立大学機構教育イノベーションセンターでは、  
実践的全人教育を目指しています

小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学の3つの道内単科大学が2022年4月、経営統合して発足した北海道国立大学機構。そのゴールは、特色ある学問分野と連携し、北海道を支える人材の育成とイノベーションの創出、持続可能な社会の実現に貢献することです。3つのいずれかの大学に入学すると、異分野の専門を学べる「三大学連携文理融合教育プログラム」を受講することが可能です。

機構発足から4年目。学んだ学生が今春から社会へ。課題解決に奔走、活躍が期待されています。

三大学の専門分野である商学、農学、工学に関する単位互換科目は現在、50科目。さらに深く勉強したい学生向けとして、「三大学連携文理融合教育プログラム」が用意されています。

YouTubeでも紹介しています!



具体的なプログラム内容は、

### ▼ 小樽商科大学

#### アントレプレナーシッププログラム

北海道の地域特性を理解し、イノベーションに資する多分野の知識を得ることにより、地域・企業等における革新を実現しうる人材を育成

### ▼ 帯広畜産大学

#### スマート農畜産業プログラム

農学をベースに、情報処理ならびに商学系科目を履修することにより、国際市場への挑戦を見据えた新たな農業システムを考察・構築できる人材を育成

### ▼ 北見工業大学

#### スポーツ・健康プログラム

スポーツと健康を、工学・農学・商学の融合的視点から理解し、地域の人々の健康維持・増進はもとより、経営的視点から健康産業にも貢献できる人材を育成

それぞれのテーマに沿った一連の科目群を全て履修すると、通常の学位の他に修了証明書が発行され、大学で何を学んだか、何を身につけたか就職活動などでもPRすることができます。



小樽商科大学  
商学部経済学科

3年 伊東 大智さん

帯広畜産大学  
畜産学部畜産科学課程  
農業環境工学ユニット

3年 川合 尚子さん

北見工業大学  
地域未来デザイン工学科  
バイオ食品工学コース

3年 水島 弥生さん

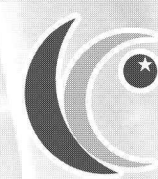
現在プログラムを履修中の学生三人に率直な感想を語っていただきました。新しい分野に挑戦する姿を紹介します。



小樽商科大学  
OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE



帯広畜産大学  
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine



北見工業大学  
KITAMI Institute of Technology

**商学から農業へ——  
異分野学習で広がる視野**

小樽商科大学3年の伊東大智さんは、現在「スマート農畜産業プログラム」を受講中。商学だけでは学びきれない分野を体験的に学ぶことで、経済活動の裏にある生産現場の実態を理解できるようになったという。たとえば備蓄米問題などを、市場価格の変動だけでなく生産者側の視点で捉えられるようになったと話す。受講のきっかけは、1年時に行った帯広の農家でのアルバイト経験。大規模機械化された農業に衝撃を受け、農業を学んでみたいと思ったそうだ。兄が帯広畜産大学に在学していた縁もあり、異大学の授業や仲間との交流を通じて新たな興味や関心が広がっているという。

**「食」と「技術」をつなぐ  
スマート農業への挑戦**

帯広畜産大学3年の川合尚子さんは、畜産大学ならではの「うしぶ。」で搾乳やオリジナル牛乳の製造を行いながら、食に関わる将来を見据えて学びを深めている。現在は「スマート農畜産業プログラム」でドローン操作やプログラミングを実践的に学び、AI技術による農作業の効率化に関心を持つ。もともとと畜産を中心に学ぶつもりだったが、農業環境工学ユニットで工学的視点を身につけ、文理融合教育を通して「生産」と「技術」を結びつけた新しい農業の形を探求している。

**0から1を生み出す  
楽しさを学ぶ**

北見工業大学3年の水島弥生さんは、理科の知識を生かし新しいものを生み出したいという思いから同大学に進学。授業を通じて「アントレプレナーシップ(起業家精神)」と出会い、その考え方に強く惹かれたという。アントレの授業では、0から1を生み出しアイデアを形にする面白さを実感し、工学的視点にとどまらない創造力を磨いている。もともとのづくりや表現が好きだった彼女にとって、「アントレプレナーシッププログラム」で学ぶことは自分らしさを社会に生かす道となった。今後は他者の悩みを解決し、より良い社会を創ることを目標に、新たな挑戦を楽しんでいる。

さらに詳しく聞ける「学生の声」は公式YouTubeへ!

公式YouTubeでは、三大学連携文理融合教育プログラムに関する説明動画も視聴いただけます。



## 枠を越え、未来を創る。北海道から世界へ

北海道国立大学機構教育イノベーションセンターは、小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学の三大学が連携し、商・農・工の専門分野を融合した新しい学びを提供しています。約50科目の講義を相互提供し、年間延べ9,000人以上の学生が学びに参加。遠隔教育技術の開発や教育の質保証にも取り組み、広大な北海道から世界へつながる教育環境を実現しています。

学生の皆さんには、自大学にとどまらず、異分野の科目を学び、幅広い視野と柔軟な課題解決力を身につけてほしいと願っています。さらに、アントレプレナーシップ、スマート

農畜産業、スポーツ・健康の3つの文理融合プログラムを修了すれば、学位に加え修了証を取得可能。起業や地域課題解決など、実践的な挑戦を後押しします。

スキー授業や大学祭、部活動交流など、三大学間の交流も積極的に推進。オンライン学習で繰り返し学び、対面授業で刺激的な出合いを体験できます。現代社会の複雑な課題に対応するためには、専門知識に加え異分野の視点が不可欠です。

北海道の特性を最大限に活かしたこの教育環境で、皆さんが自らの可能性を広げ、未来を切り拓く力を育むことを心から期待しています。

理事長  
長谷山 彰

